

Title	大阪公衆衛生 第91号 編集後記／奥付／裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 91
Issue Date	2020-03
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/78705
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

機関誌「大阪公衆衛生」91号は令和になって初めての発行です。本号のテーマは「誰一人取り残さない持続可能な社会を実現しよう」といたしました。

〈巻頭言〉では関西大学社会安全学部 高鳥毛教授に「中村哲医師のアフガニスタンにおける活動から公衆衛生の原点をみつめる」と題してご寄稿いただきました。

関西空港検疫所 笠松所長にはグローバリゼーション時代として新興感染症に対する検疫所の業務について、その歴史と、自治体との連携の重要性について解説いただきました。あわせて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発生という緊急事態についても言及いただきました。大阪国際がんセンター田淵先生には「メディアが伝えない！新型タバコのリスク」として加熱式タバコや電子タバコといった新型タバコについて詳説いただきました。近畿大学社会連携推進センター 安田教授には「グローバル化と保健医療者の移動を考える」として、将来日本の保健医療に必要な人材を持続的にどう確保するかという提案をいただきました。宮園所長には、都道府県型保健所から市型保健所として市立保健福祉センターと保健所の組織としての業務について述べていただきました。

〈トピック〉では、「健診項目に身長短縮の追加を」として特定健診の間診項目に「以前の最高の身長」を追加することで「身長短縮割合」の算出により運動や食生活習慣の見直しにつながる新規の提案がされました。そのほか、〈会員の声〉では国際保健学を学びアフリカでのHIV・母子保健対策に従事活躍した報告をいただきました。藤原久十郎賞受賞の会員からは、「35年の保健師活動を振り返って」として報告いただきました。

業務に忙殺を極めるさ中、本号への掲載のためにご執筆やご尽力を賜りました皆さま方に厚く御礼申し上げます。

（出版編集室長 松本一美）

※ 出版編集室メンバー ※

室長	松本一美（大阪府）
幹事	山口世志子（大阪府）
幹事	根岸浄子（大阪市）
幹事	藪下いづみ（堺市）
幹事	阿部泰友（東大阪市）
幹事	太田岳（高槻市）
事務局	井戸武實（協会）
校閲・協力	林田雅至（大阪大学COデザインセンター）

大阪公衆衛生91号

発行 令和2年3月 発行者 高野正子
編集責任 公益財団法人 大阪公衆衛生協会出版編集室
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3番1号 双馬ビル4階404
TEL (06)6948-5917 FAX (06)6948-5927
印刷 ショーアート TEL (06)6967-0811

公益財団法人 大阪公衆衛生協会



Osaka Public Health Reports

91

2020.3